

しょうがくせい ほん 小学生におすすめの本 2024

(2024. 3)

がっこうれんけいししょ えら しょうがくせい よ ほん しょうかい
学校連携司書が選んだ小学生に読んでほしい本を紹介

「そんなのうそだ！」

なまけもののサルと、ブタと、キツネがお金持ちのイヌにしょうぶをいどみます。ひとりずつ順番にうその話をして、「そんなのうそだ！」といわれたものが勝ち。負けたものは勝ったもののけらいになる約束をします。絶対に勝つにはどんな話をしたらいいでしょうか。

ていがくねんむ
低学年向き

ちゅうおうとしょかん たなばん
中央図書館 棚番/20 ラベル/桃色93



ジーン・メリル/作

小宮由/訳

坂口友佳子/絵

出版社/岩波書店

「ひとりかもしれない」

“ひとり”ってどんなイメージがありますか？主人公は小学4年生の女の子「貝」。家や学校で言いたいことが言えず、もやもやした気持ちをいつもかかえています。はっきりした性格の親友とちょっと気になる幼なじみの男の子と過ごすなかで、貝は自分自身を見つめなおし、少しずつ変わっていきます。こころがずっと晴れるような物語。

ちゅうがくねん
中学年から

ちゅうおうとしょかん たなばん
中央図書館 棚番/24 ラベル/水色91イ



岩瀬成子/作

田口美千代/絵

出版社/フレーベル館

「聞いて聞いて！ 音と耳のはなし」

音は「空気のふるえ」なんだって。聞こえる音、人間には聞こえない音、聞きたい音だけ聞くこともできます。聞こえるってどんなこと？なんで耳は二つあるの？この本は聞こえるしくみについてくわしく書かれています。人間のからだって面白い！

ちゅうこうねんむ
中高年向き

ちゅうおうとしょかん たなばん
中央図書館 棚番/18 ラベル/赤42

がぞう
画像はあり
ません。

高津修・遠藤義人/作

長崎訓子/絵

出版社/福音館書店

「起業家フェリックスは12歳」

6年生のフェリックスはお母さんのバースデーカードを買いにいくが、お金が足りず買えなかった。そこで、絵の上手な友達のもーが作ったカードをプリントさせてもらうことを思いつく。カードをもらったお母さんは大喜びし、それを見ていたおばあちゃんもカードがほしいと言ったことからフェリックスと仲間たちとのカードビジネスが始まった。おじさんの助言をもらいながら、フェリックスはビジネスだけでなく人としても成長していく。

こうがくねんむ
高学年向き

ちゅうおうとしょかん たなばん
中央図書館 棚番/23 ラベル/水色93ノ



アンドリュー・ノリス/作

千葉茂樹/訳

出版社/あすなろ書房